

令和8年4月国見町教育委員会定例会 会議録

- 1 開会日時 令和8年4月10日（金） 午後6時開会
- 2 招集場所 国見町観月台文化センター 第1会議室
- 3 出席委員
1番 高橋 幸子 教育長職務代理者
2番 志村 裕美 委員
3番 中村 裕美 委員
5番 石幡 良子 教育長
- 4 説明のため出席した職員の職氏名
教育次長兼教育総務課長 六戸 浩寿
教育施設課長 佐藤 智宏
生涯学習課長 実沢 隆之
教育総務課管理主事兼指導主事 邊見 年成
教育総務課指導主事 吉田 牧子
- 5 書記 教育総務課主幹兼総務係長 八島 章
教育総務課主任主査兼こども教育係長 蓬田 祐子
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議の成立
教育長から、教育委員半数以上の出席があり、会議が成立していることが告げられた。
- 8 会議録署名委員
教育長から、高橋幸子教育長職務代理者、中村裕美委員が会議録署名委員として指名された。
- 9 会期の決定
教育長から、会期は本日1日としたい旨の発言があり、これについて図ったところ、全員に異議無く、そのとおり決定された。
- 10 会議録の承認
教育総務課長から、令和8年3月定例会会議録について説明があった後、教育長から、その承認の可否を諮ったところ、全員に異議無く、これを承認することに決定された。

1.1 教育長報告

(1) 教育長出席会議等について

教育長から、出席会議等について、別紙により報告した。

【報告要旨】

- ・修了式・卒業式、入園式・入学式に参加。あらためて教育にかかわることができることの喜びと責任を感じるとともに、児童生徒の成長と教職員の支援の力を再認識した。保幼小中一貫教育の成果と切れ目のない連携を感じた。
小規模自治体の強みとして、児童生徒一人ひとりの顔と成長が把握可能であり、国見町ならではの教育の可能性を実感
- ・「福島放送 シェア」に国見小学校5年生が生出演。約4か月の間、動画制作班と町産食材メニュー開発班で学習し成果を発表した。視聴者から国見カレーを食べた旨と児童・支援者への称賛の手紙・絵手紙が届いた。学校は手紙・絵手紙を掲示して励みにする方針。番組の様子は学校ホームページとYouTubeで閲覧可能。今後も6年生の歴史学習で発信を重視した企画を準備中と教員から報告があった。地域全体を学びの場として活用し、地域の力を借りながら子どもの学びを支える環境を整備。学校任せにせず教育委員会としても支援を強化したい。

【質疑】

なし

(2) 3月議会定例会報告

教育総務課長、教育施設課長、生涯学習課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

【報告要旨】

① 令和8年度国見町当初予算

一般会計 66 億 5 千万円（前年比+2.7 億円）。当初予算は議決済み、重点事業を各課で推進。

i)いきいき健康なまちづくり：オンライン診療が新設され、一部診療を開始（1,143 万円）。

ii)安全・安心で住みやすいまちづくり：藤田駅前ロータリー整備（1 億 3,600 万円）。

iii)教育・子育て・ICT:ICT 推進（8,396 万 6 千円）で小中ネットワーク整備と学習の質向上。認定こども園の検討委員会設置と基本構想策定（1,043 万 3 千円）。保育料無償化（7 年度半額、8 年度完全無償化へ、950 万円）。

iv)活力あふれるまちづくり：まちの駅整備（約 50 万円、先進地調査）。

v)信頼と協働のまちづくり：多目的施設整備検討（約 15 万円）。

②令和8年度重点事業

・教育総務課

i)1人1台端末更新（4,615 万 9 千円）：児童生徒 454 台、教員 55 台（補助 2/3）。

ii)小中学校ネットワーク強靱化（1,982 万円）：無線環境更新で遅延を抜本改善。

iii)保護者連絡網整備（82 万 5 千円）：保幼小中に LINE 連絡導入、個人情報管理徹底と負担

軽減。

- iv) 小中学校への新聞配布と授業活用：活字・社会情勢理解を目的に小中学校に福島民報新聞を各10部購読する。
- vii) 不登校対策（校内教育支援）：校内教育支援サポーターを配置し、学校内に学習・相談スペース（空き教室活用、視線配慮）を整備。中学生は校内ルーム、既存の教育支援センター（ステップ）を選択可。

・教育施設課

- i) 認定こども園整備：検討委費44万3千円、計画策定委託1,000万円。
- ii) 保育所LED改修（2,858万9千円）を本年度より開始。
- iii) 小中学校熱中症対策（95万円）：冷凍庫整備、空調併用。
- iv) 小中学校トイレ清掃外部委託（151万5千円）：働き方改革・衛生管理。
- v) 小学校屋内消火栓設備改修（2,000万円）。
- vi) 給食費無償化（給食センター）：1人/月5,400円補助（国→県→町→対象者、1,487万2千円）。不足は過疎債等活用。

・生涯学習課

- i) 社会教育事業、地域学校共同本部、図書館運営は前年度同様に実施。
- ii) 文化・スポーツ施設維持管理：
- iii) 文化センター設備改修（約2億5,003万3千円）：照明LED化（継続）、屋根改修（新規）、冷温水コンプレッサ等更新、ホール照明改修。
- iv) 社会体育施設維持管理（9,346万4千円）：総合運動場・体育館等の維持、LED化設計・改修。
- v) 図書館利用状況（令和7年度）：貸出人数5,626人（+443）、貸出冊数20,237冊（+1,272）、相互貸借196冊（+53）、返却遅延147冊（-11）、図書コミュニティ836冊（+44）。
- vi) 施設利用状況（令和6年度対前年比）：文化センター41,473人（-1,070）、体育施設41,992人（-2,669）。

【質疑】

- 高橋委員 不登校対策事業について、新しく学校内に支援室を設置するということか。また、既存の教育支援センターとの違いは。
- 教育総務課長 中学校に空き教室活用を利用して設置する。中学生は既存センターと新設ルームの選択が可能となる。
- 教育長 学校へは行けるが教室には入れない子どももおり、その子たちの居場所となれる場所を設置するもの。不登校生の多様な学びの場を保障するため、校内外の選択肢を整備・拡充していく。
- 中村委員 校内での学習が中心なら、給食は学校でとれるのか。

- 教育長 学校で給食をとることができる。

- 志村委員 高校受験の出席扱い・受験・進学対策は、校内支援室なら担任の支援が可能となるのか。
- 教育総務課長 担任が近くにおり、顔を出して相談に乗るなど支援しやすい体制となるため適切に対応可能。
- 教育長 校内支援室、教育支援センター、どちらに通う生徒も出席扱いになる。オンラインで授業を受けて希望校に合格した事例もある。どこにいても学びを保障する環境を整備したい。

- 中村委員 指導体制について、担当は教員との兼任ではなく専任となるのか。
- 教育総務課長 町の会計年度職員として採用した教員免許保持者が専任で配置される。
- 教育長 教育支援センターの先生も教員免許保持者で、手厚い体制となっている。

- 中村委員 部活動や未来塾への参加は可能か。
- 教育長 現在も授業に出られないが、部活動に参加している生徒もいる。社会や友達とのつながりは重要と考えており参加は可能。

- 志村委員 新聞活用について、各小中学校でクラスに配布されるとのことだが、小学校も子ども新聞ではなく一般紙となるのか。また、授業での活用方法は。
- 教育総務課長 配達部数と対象は、小学校は4～6年の各クラスに2部ずつ、学校全体で10部。中学校は1～3年の各クラスに2部ずつ、学校全体で10部。合計で小中あわせて20部。小学校は4年生以上を対象とする。新聞の種類は一般紙を小中で共通に配布し、活字に慣れる、社会情勢を知る機会とする。活用は民報側の出前教室を活用し、令和7年度に続き令和8年度も随時実施予定。
- 教育長 出前講座以外でも新聞活用で教育効果が高まっている事例がある。民報社と連携協定を結んだことで、国見小学校などで事例を展開しており、TT(チーム・ティーチング)として民報社の方が授業に入ることもある。教育効果につなげるため、引き続き連携して進めたい。

- 中村委員 子ども版の新聞も特に低学年児童に対しては有用だと思うが、子ども版は継続するのか。
- 教育長 国見小では子ども版についても継続する。

12 議事

(1) 議案第1号 国見町認定こども園設置検討委員会設置要綱の制定について

教育施設課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。
 なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

認定こども園の基本構想策定。所掌事務は基本構想と必要事項。委員は14人以内（学識経験者、関係機関・団体代表等から教育委員会が指名）。委員長・副委員長、会議招集、オンライン特例を規定。事務局は教育施設課。施行は令和8年4月10日。今年度は概ね隔月開催で基本構想とロードマップ概算まで策定。

【質疑】

なし

(2) 議案第2号 国見町立小中学校職員の時差出勤に関する要綱の制定について

教育総務課主幹から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

目的は教職員のワークライフ・バランス推進、児童生徒と向き合う時間確保、教育の充実。対象は県費負担教職員となり、会計年度任用、育児短時間、再任用短時間は対象外。区分は通常勤務から時差最大60分の繰り下げ、繰り上げを可能とするもの。施行は令和8年4月10日。

【質疑】

- 高橋委員 事前申請の対象に部活動指導は含まれるのか。また、60分繰り下げした場合の7時始業は何を想定しているのか。学校を7時に開けるということか。
- 教育総務課主幹 部活動は通常業務に含まれないため対象とはならない。7時勤務の場合には事務作業等の校務を想定しており、学校を早く開けるということではない。
- 教育長 全国の先進事例を見ると、一人当たり月に約5日程度取得しているようだ。導入にあたっては学校長と相談をしながら進めていきたい。
- 中村委員 学校は教頭が開錠、施錠していると聞いたが教頭が時差出勤をとる場合の対応は。
- 教育総務課主幹 国見小学校では用務員が開錠し、施錠は最終退校する教員が施錠をしている。教頭については構造上、業務が集中してしまうため、時差出勤を活用するなど、教頭の役割も他の教員が分担できるようにしていきたい
- 教育長 鍵の開け閉めについては、今年度、県北中学校についても見直しを進めていきたい。

1.3 協議・報告

- (1) 国見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の特例に関する規則の一部を改正する規則について

教育総務主幹から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

【説明要旨】

保育料の無償化に係る例規の改正。権限が町部局に帰属するため、報告事項となるもの。現状の100分の50を減じる規定を100分の100に改正する。施行期日は令和8年4月1日から施行する。

【質疑】

なし

(2) 事務分掌・事務執行計画について

教育総務課長から別紙により説明があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

(3) 教育総務課報告

教育総務課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

① 令和8年度保育所・幼稚園・小中学校等子ども数

令和8年度保育所・幼稚園・小中学校の児童生徒数(4月1日現在)は、藤田保育所33名、幼稚園86名(新入園児25名、預かり保育75名)、国見小学校256名、県北中学校129名。

② 幼稚園・小中学校の入学式等について

幼稚園・小中学校の入学式は4月6日および4月8日に挙行了した。

【質疑】

なし

(4) 教育施設課報告

教育施設課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

こどもクラブの様子。4月1日時点の人数は114名。4月6日に保護者会を実施し、注意事項・確認事項を共有してスタートした。

【質疑】

なし

(5) 生涯学習課報告

生涯学習課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

成人教育事業、地域学校協同本部事業、青少年町民会議事業について、それぞれ実施。図

書貸出については前年度で増加。文化センター、体育施設の利用状況については前年度比で減少している。

44ページの施設利用状況の体育施設前年度比の数値(2,669→△2,669)及び町長杯スポーツ大会の閉会式日程(6/3(水)→6/2(火))について資料の訂正。

【質疑】

なし

(6) その他

① 5月定例教育委員会

教育総務課長から、5月教育委員会について、5月18日に国見町観月台文化センター第1研修室で開催予定であることが確認された。

② 当面の予定

- ・令和8年度市町村教育委員会連絡協議会伊達支会 役員会・監査
日時：4月23日(木) 9:45 場所：伊達市役所
- ・令和8年度市町村教育委員会連絡協議会定期総会
日時：5月13日(水) 10:30 場所：福島市市民センター
- ・令和8年度市町村教育委員会連絡協議会伊達支会 総会・研修会
日時：5月22日(金) 14:00 場所：伊達ふれあいセンター

【質疑】

- 志村委員 第50回駅伝競走大会の記念大会について、従来と違う趣向で実施するのか確認したい。
- 教育長 現段階では未定だが、第50回という節目に当たるため、趣向を凝らして実施したい。
- 高橋委員 保護者から中学校の女子更衣室の設置要望がある。検討してほしい。
- 教育施設課長 現状を確認し、追って回答する。

14 閉 会 午後7時30分閉会